

～教室環境改善アンケート調査の集計及び分析～

教務委員会

[目 次]

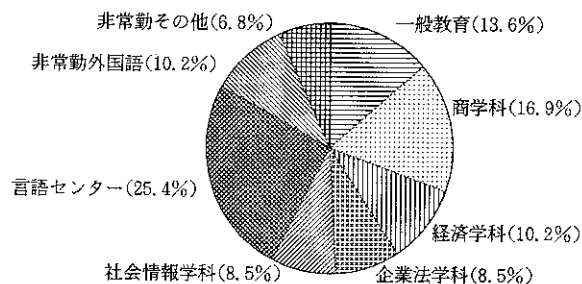
0	はじめに	2-1-3	ホワイトボードの問題
1	分 析	2-1-4	ゼミ室の共用
1-1	全般的問題	2-2	教室タイプ毎の問題
1-2	ゼミ室の問題	2-2-1	大規模講義室 (104室、105番、 160番、210番、213番等)
1-3	語学用教室の問題	2-2-2	中規模講義教室
1-4	個々の教室の問題	2-2-3	ゼミ室
2	まとめと若干の提言	2-2-4	語学用教室
2-1	共通の問題について		【付録】その他の教室の集約
2-1-1	複数教室での同時講義		

0 は じ め に

このアンケート調査は、本学の教室環境の総点検を目的として、本学で教鞭を取っている全ての専任教員と非常勤講師を調査対象に、1994年9月28日から10月17日にかけて実施された。本報告書は、この調査内容を集約し、若干の提言を付したものである。

調査方法について言えば、所属学科・担当科目を明記の上、共通問題として①大人数授業の問題、②複数教室による同時講義の問題、③大講堂設置の問題、④ホワイトボード設置の問題、個別問題として①現在使用中の講義用教室、②ゼミ室、③語学用教室について多肢選択（単答式）・記述併用方式で回答を求めた。サンプル数は59、その内訳は図1のとおりである。

図1 所属学科の内訳 (QA)



1 分 析

本分析は、本アンケートに寄せられた59名の回答によるものである。

1-1 全般的問題 (QA~QB)

《教室の定員オーバー問題》 (QB I-1~2)

履修者が現に使用している教室の収容能力をオーバーしていると答えた者が32.7%存在し、外国語担当者を除いた数は45.9% (図2参照) にも達している。この点について、深刻な問題と受け止めている者は皆無であるが、問題ありとしている者が66.7%となっている。(図4参照)。深刻な問題となっていないのは、履修者数に比べ出席者数が少ないことによるのであるが、このこと自体問題であるとともに、早急な解消が望まれよう。ただし、その場合、クラスを分けることによって解決しようとするのは、特に少人数教育が望ましい場合は別として、教官の負担が限界にきていることから、実現は不可能であり、施設面からの改善が望まれるところである。

《複数教室での同時講義》 (QB I-3)

ビデオ等の使用による複数教室での同時講義について、賛成28.3%、反対37.0%と、反対する者が多い (図5参照)。従って、実施することについての学内でのコンセンサスはできていないとみるべきであり、今後検討する意味はあるとはいえ、急いで導入する必要はないであろう。

《大講義室の設置》 (QB I-4)

大講義室の設置については、賛成が57.1%に達し、反対は16.1%であった (図6参照)。

図5 複数教室での同時講義について (QB I-3)

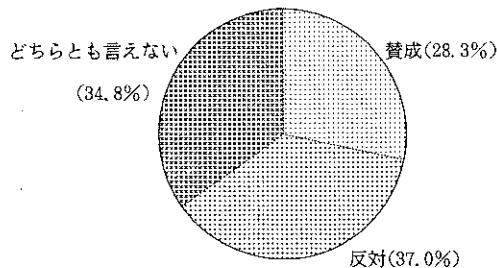


図2 履修者数が教室の収容能力をオーバーしているか (QA)

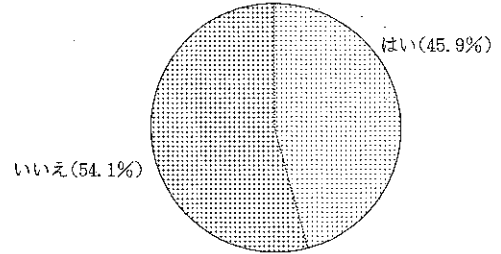


図3 定員をオーバーしている科目の種類 (QB I-2①)

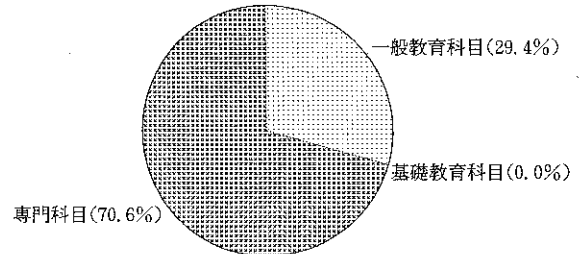


図4 現状をどのように認識しているか (QB I-2②)

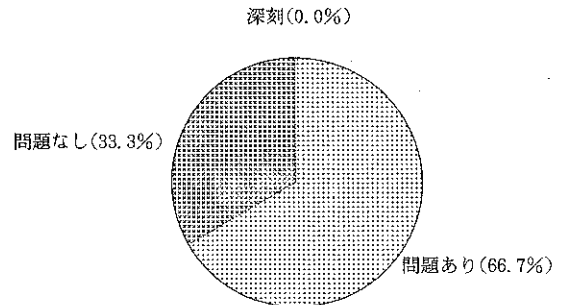
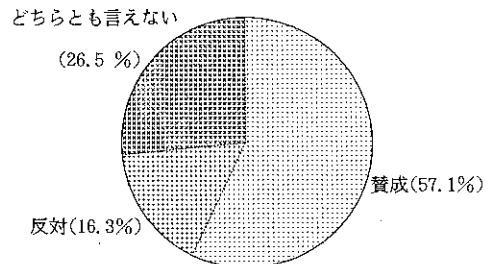


図6 大講義室の設置について (QB I-4)



本学の大勢は大講義室の設置を望んでおり、今後の重要な検討課題であるといえよう。設置基準による制約が存在していたとはいえ、これまでの数度の改築工事において、大講義室として使用可能な施設が実現できなかったものか、誠に悔やまれるところである。

《ホワイトボードの設置》(QBI-5/QCI-4/QDIII-4)

ホワイトボードの設置について、賛成する者が67.3%存在し(図7参照)、とりわけゼミ担当者については81.0%にのぼっている(図8参照)。ホワイトボードの設置は真剣に検討すべき課題であり、ゼミ室には早急に設置することが求められているといえよう。

1-2 ゼミ室の問題(QC)

《ゼミ室の基本設備について》(QCI-1)

教室の収容能力、音響、照明、黒板・机・椅子などの設備、および教室の設置位置については、やや悪い、悪いとする回答はおおむね30%以下であるが、暖房については、55%の先生がやや悪い、悪いとしている(図10参照)。これは、卒業論文の追い込み期などにゼミ室に通気がなく、寒い思いをしながらゼミ活動を行っている現状を反映したものである。また外部からの物音については、23.5%が悪い、11.8%がやや悪いと回答しており、特に講義棟2階の学生控え室付近の騒音が問題と考えられる。

《AV機器類について》(QCI-2)

AV機器類については、現状に対する不満が顕著に現れている。これは機器によって相違があるが、特にOHPについては悪いと回答した教官が66.7%、やや

図7 ホワイトボードの設置について(QBI-5)

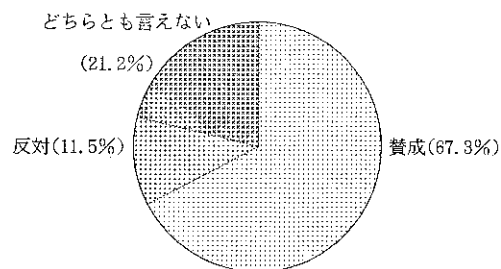


図8 ホワイトボードのゼミ室への設置(QCI-4)

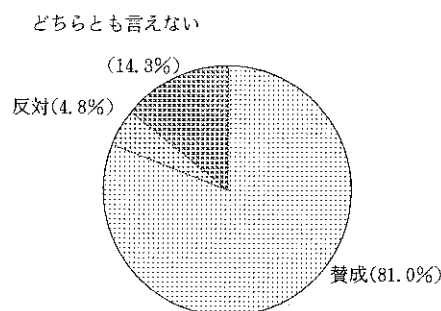


図9 ホワイトボードの語学教室への設置(QDIII-4)

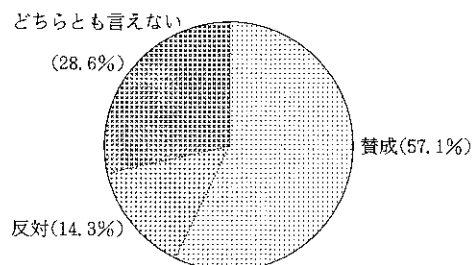


図10 ゼミ室-暖房(QCI-1)

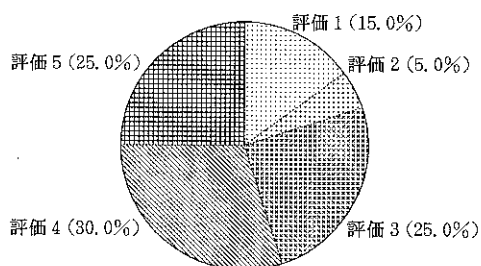
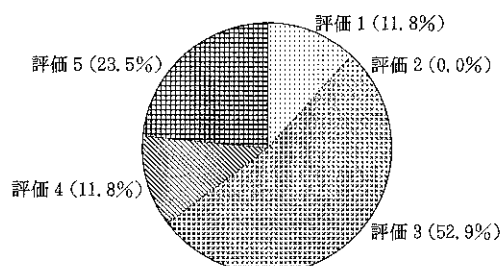


図11 ゼミ室-外部からの物音(QCI-1)



悪いとしたものが22.2%で両者を加えると、実に9割近い教官(88.8%)が不満を表明している(図12参照)。続いてビデオ装置については半数(50%)が不満を表明しており(悪いが37.5%、やや悪いが12.5%) (図13参照)、カセットデッキ、映像による教材提示装置については、それぞれ悪いとやや悪いが同じ20.0%おり、合わせて40.0%が不満を表明している。

《AV機器類設置の必要性、緊急性の高さ》

(QCI-3)

このようなAV機器類に対する不満は、これらの機器類の設置の必要性、緊急性の高さについての教官の認識を反映している。とくにビデオ装置、OHPについて早急な設置を要する、早晩の設置を要すると答えた教官は、前者で55.5%(早急な設置を要するが44.4%、早晩の設置を要するが11.1%) (図14参照)、後者で63.7%(早急な設置を要するが27.3%、早晩の設置を要するが36.4%) (図15参照)にも達しており、教官が研究教育でこれらの機器を実際に利用しており、ゼミナール教育にもこれを利用しようとする要求が強いことを示している。

これに対してカセットデッキについては、設置の必要なし、どちらでもよいとする回答が62.5%(前者25.0%、後者37.5%)に達しており、また映像による教材提示装置については、早急な設置を要するが0%、早晩の設置を要するが37.5%となっている。これは、カセットデッキについては、専門科目のゼミ教育にはあまり必要ではないと考えていることが予想され、映像による教材提示装置については、なお普及に至っておらず、今後可能な教育機器として考えられていることがわかる。

《ホワイトボードの設置について》(QCI-4)

1-1を参照されたい。

《ゼミ室の共用について》(QCI-5)

この設問に対する教官の回答は、大きく分かれてい

図12 ゼミ室へのAV機器類-OHP(QCI-2)

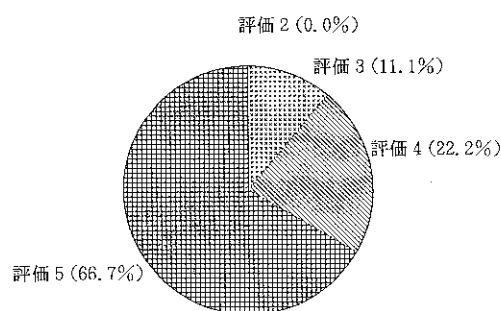


図13 ゼミ室へのAV機器類-ビデオ装置(QCI-2)

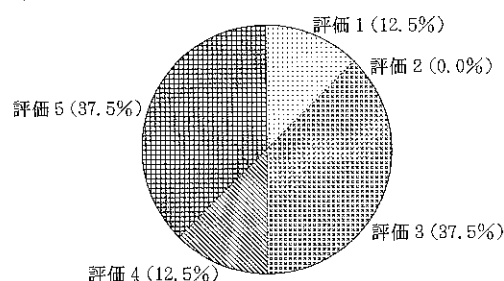


図14 ゼミ室へのAV機器類-ビデオ装置(QCI-3)

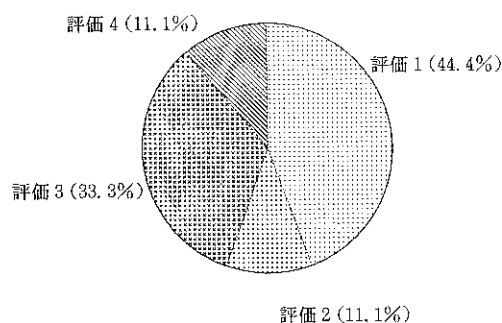
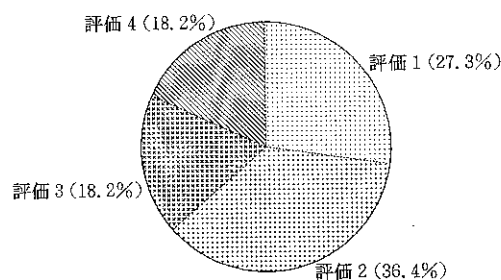


図15 ゼミ室へのAV機器類-OHP(QCI-3)



るものと見ることができる。すなわち一定のゼミでは、パソコン機器類、ゼミナール専用書架、図書を設置しており、不特定多数の教官、学生のゼミ室利用については抵抗があり43.5%の教官が反対を表明している。一方良いとする教官は、反対とする教官を下回っているとはいえ39.1%に達しており、必ずしも絶対多数が反対とは言えない側面をも示している（図16参照）。

これについては、現状のゼミ室の利用形態を反映しているものと考えられ、さらに教官、学生によるゼミ室の利用頻度、設置備品などとの相関を検討する必要がある。

1-3 語学用教室の問題

《教室の種類》（QD I）

語学教室として使われている教室のタイプの分布は、アンケート実施時点では、教室総数：23、通常可動：9(39.1%)、通常固定：11(47.8%)、AVホール：1(4.4%)、LL教室（コンピュータラボを含む）：2(8.7%)。新講義棟ができた現時点では若干改善されて、教室総数：30、通常可動：14(46.7%)、通常固定：13(43.3%)、AVホール：1(3.3%)、LL教室（コンピュータラボを含む）：2(6.7%)となっている（図17、図18参照）。

回答者が使用している教室のタイプは、現在の教室分布とはかなり異なり、通常教室のうち、椅子可動タイプの割合が約9ポイント高く、逆に椅子固定タイプの割合が約22ポイント低くなっており、またAVホールとLL教室の割合が共に約7ポイント高くなっている。回答者の教室使用状況が平均よりやや良いと言えるかもしれない（図19参照）。

《通常教室の場合》（QD II [1] ~ [2]）

〈基本的設備〉（QD II [1] [2] - 1）

「教室の収容能力」については、肯定的評価1・2の合計約37%が否定的評価4・5の合計15.8%の倍以上に

図16 ゼミ室の共用（Q C I - 5）

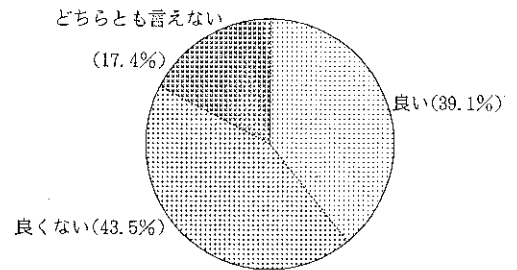


図17 語学教室のタイプ（アンケートの時点）

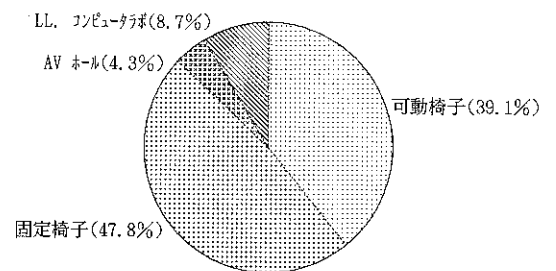


図18 語学教室のタイプ（新講義棟使用后）

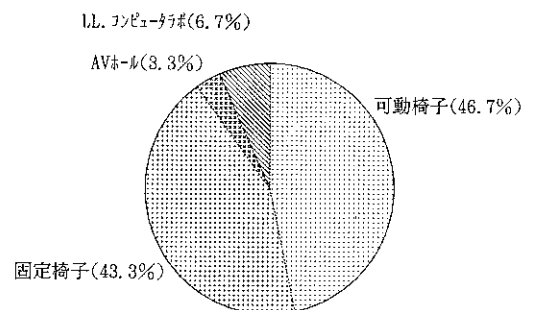
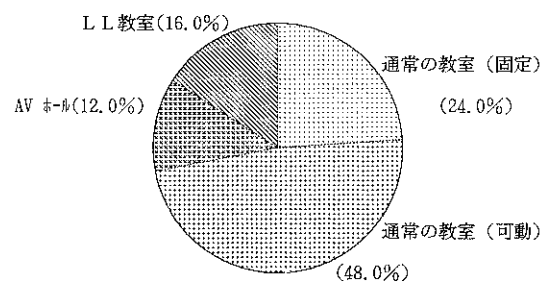


図19 教室の種類（QD I）



のぼるが、判断保留の評価3が半数近くを占めており、全体的傾向は不明確である。外国語科目では履修者数が教室の収容能力を上回ることなく、ここでの否定的評価や判断保留はやや不可解だが、スペース自体が狭すぎたり逆に広すぎたりすることへの不満の表れかもしれない。

「音響」については、「教室の収容能力」の場合と同様に、肯定的評価1・2の合計約30%が否定的評価4・5の合計20%を大きく上回っているが、判断保留の評価3が半数を占めており、全体的傾向はやはり不明確である。しかし音声教育が重要な位置を占める外国語科目にとって、70%が音声環境を良いと思っていない現状は好ましいものではないだろう（図-20参照）。

「照明」については、肯定的評価1・2と否定的評価4・5が25%で均衡し、判断留保の評価3が50%となっており、照明の状態もあまり良いとは言えないようである。

「黒板・机・椅子等の設備」については、否定的評価4・5の合計が40%にのぼり、これに判断留保の評価3の35%を加えた実に75%が良いとは思っていないことになる。この明確な否定的評価は、固定式椅子への不満、先に見たホワイトボード設置への希望の大きさ、更には後に見る小卓付き可動式椅子への希望の大きさ等を併せ考えると、それほど不自然ではないであろう（図21参照）。

「暖房」についてはまずまずの評価を得ているが、判断保留の多さ（50%）は、夏の冷房装置の不在や冬の暖房装置の温度調整の悪さが響いているのかもしれない。「教室の設置位置（日当たり）」については、可も無し不可も無しというところだろう。「外部からの物音」については、否定的評価が合わせて約53%にのぼり、肯定的評価もかなり低く、騒音に悩まされる

図20 音響 (QD II-1)

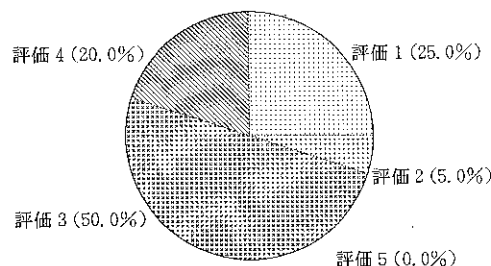


図21 黒板・机・椅子等の設備 (QD II-1)

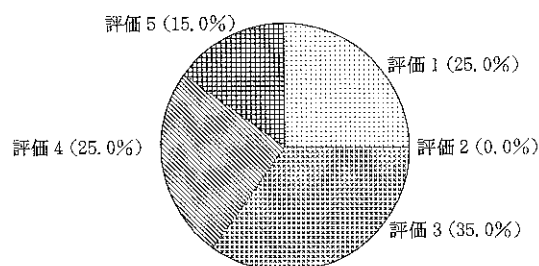


図22 外部からの物音 (QD II-1)

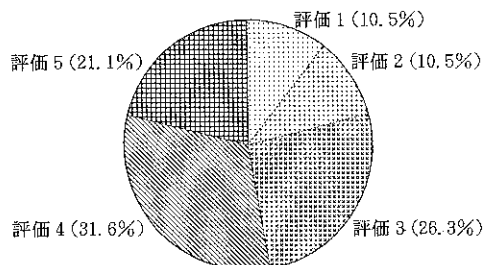
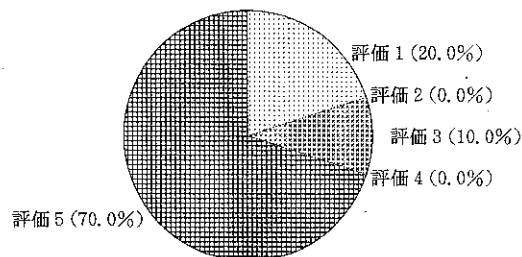


図23 語学教室のAV機器類-ビデオ装置 (QD II-2)



教室が少なくないことを示している（図22参照）。早急に問題のある教室を調査し対策を講じる必要がある。

〈AV機器類〉（QDⅡ [1] [2] - 2）

「ビデオ装置」については、否定的評価（5のみ）が70%にのぼり、装置そのものが無いことへの強い不満を示している（図23参照）。ちなみに、現在ビデオのある通常教室は3教室のみであり、これに対して同一時間に多い時には15の外国語の授業が行われている。

「カセットデッキ」については、否定的評価4と5の合計が100%、5だけでも90%にのぼり、装置の設置への希望がいかに強いかを示している（図24参照）。ここには、外国語の授業にとってカセットデッキがビデオ以上に基本的なものであり、また音響効果上スピーカーの設置が不可欠である、という認識がはっきりと見て取れる。

「OHP」については、否定的評価4と5の合計が約89%にのぼり、ここでも装置そのものが無いことへの不満は強い（図25参照）。ここには、語学教育に対するOHPの大きな効用、とりわけ学習者の顔を上げさせるというコミュニケーション型授業におけるその効用についての認識の広がりが見て取れる。

「映像による教材提示装置」については、否定的評価4と5の合計が100%、5だけでも70%にのぼり、装置の設置への希望がいかに強いかを示している（図26参照）。この希望の背後にある認識は、OHPの場合と同様のものであろう。

〈AV機器類設置の必要性と緊急性〉

（QDⅡ [1] [2] - 3）

「ビデオ装置」については、評価1と2の合計が75%にのぼり、上記の同装置への評価と表裏を成して緊急な導入の必要性を示している（図27参照）。「カセットデッキ」については、評価1と2の合計が78.6%にのぼり、ビデオ装置以上に緊急な導入の必要性を

図24 語学教室のAV機器類-カセットデッキ（QDⅡ-2）

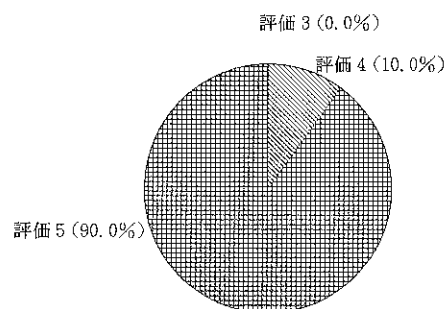


図25 語学教室のAV機器類-OHP（QDⅡ-2）

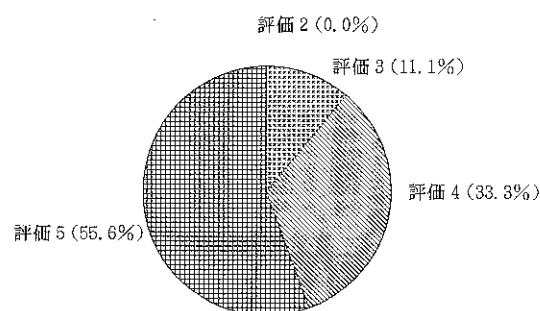


図26 語学教室のAV機器類-映像による教材提示装置（QDⅡ-2）

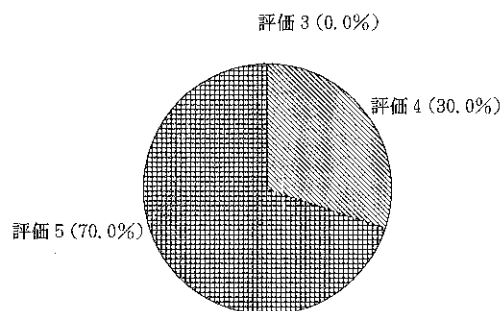
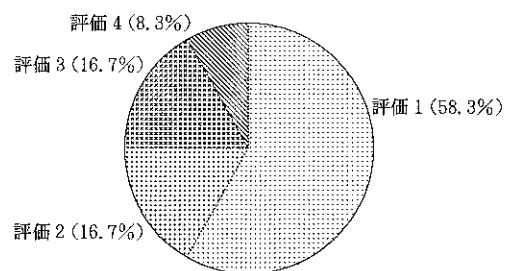


図27 機器類の必要性-ビデオ装置（QDⅡ-3）



示している(図28参照)。「OHP」については、評価1と2の合計が50%にのぼり、図25の評価5の数値とほぼ一致しているのはうなずける(図29参照)。ただ、設置の必要性・緊急性となると幾分トーンダウンするように見受けられるのは、これがまだわが国ではビデオやカセットデッキほどには馴染みがなく、若干の躊躇が働いてしまうためかもしれない。

「映像による教材提示装置」については、評価1と評価2の合計が69.2%にのぼり、設置を求める希望の強さを示している(図30参照)。OHPよりかなり数値が高いのは、現にLL教室に設置されておりその実用性が知られてきていることにもよるであろう。

《AVホール》(QDⅡ[3])

〈基本的設備〉(QDⅡ[3]-1)

「黒板・机・椅子等の設備」と「教室の設置位置」について評価が分かれた以外は、概ね「普通」以上の評価を得ている。

〈AV機器類〉(QDⅡ[3]-2)

概ね「普通」以上の評価を得ている。

〈AV機器類設置の必要性と緊急性〉

(QDⅡ[3]-3)

全て設置されているので、本来無回答か評価4(設置の必要無し)のはずだが、各機器について1件ずつ評価2(早晩の設置を要する)があるのは、現在の機器への不満の表れと言うべきか、それとも無責任な回答と言うべきか。

《LL教室》(QDⅡ[4])

〈基本的設備〉(QDⅡ[4]-1)

概ね「普通」以上の評価を得ているが、「教室の収容能力」について「やや悪い」が1件、「黒板等の設備」について「悪い」が1件見られる。教室の奥行きが深すぎることや正規の板書設備が無く通常タイプの授業方法の併用が困難であること等と関係していよう。

図28 機器類の必要性-カセットデッキ(QDⅡ-3)

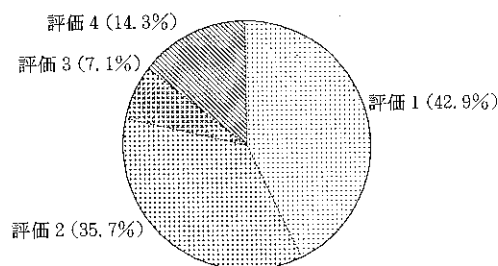


図29 機器類の必要性-OHP(QDⅡ-3)

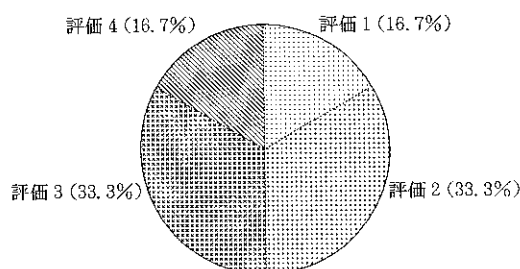


図30 機器類の必要性-映像による教材提示装置(QDⅡ-3)

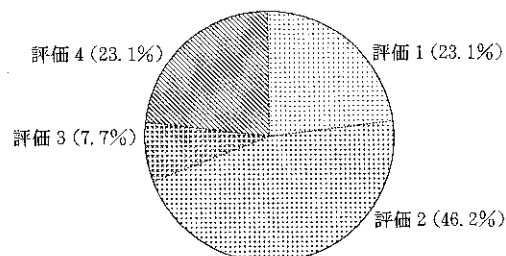
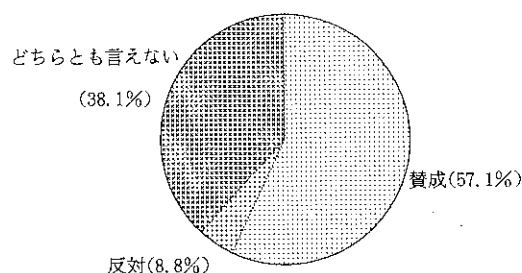


図31 可動小卓付き椅子について(QDⅢ-1)



〈AV機器類〉 (QDⅡ [4] - 2)

概ね「ややよい」以上の評価を得ているが、「OHP」について1件「悪い」という評価がある。確かにモニター式の「OHP」は、通常タイプと比べ、学習者の顔を上げさせられないという欠点がある。

〈AV機器類設置の必要性と緊急性〉 (QDⅡ [4] - 3)

全ての機器類が完備されているはずであるのに、「ビデオ」1件、「カセットデッキ」1件、「OHP」2件、「映像による教材提示装置」2件、「早晩の設置を要する」や「緊急の設置を要する」といった評価を得ている。現在の機器への不満の表明である可能性があり、使用上の問題点をチェックすべきだろう。

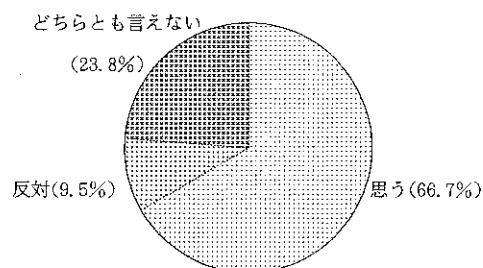
《可動式小卓付き椅子について》 (QDⅢ-1)

導入賛成が57.1%と圧倒的多数というほどではなく、反対は少ないものの、態度保留が38.1%にのぼるのは、使用経験の少なさとノートを取りにくいのではないかという懸念によるものと考えられる(図31参照)。賛成が過半数を越える点は尊重されるべきだが、少なからぬ懸念を受け止めつつ対処すべきであろう。

《専用の語学教室設置について》 (QDⅢ-3)

賛成が66.7%にのぼり反対と態度保留を合わせた33.3%を大きく凌駕しており、設置への希望は大きい(図32参照)。後者の33.3%という意外に大きな数字は、長く続いてきた大きなクラスサイズの授業の影響によるものであろう。

図32 専門語学教室の設置について (QDⅢ-3)



1-4 個々の教室の問題

[104番]

《基本的設備》

「照明」と「設置位置」について1件ずつ「やや悪い」がある以外は全て「普通」以上の評価であり、この結果、基本的設備については概ね問題はないということを示している。

《AV機器類》

「ビデオ」「カセットデッキ」については普通という評価であるが、「OHP」については評価がわかれた。

《AV機器類の導入》

「ビデオ」や「カセットデッキ」については導入の緊急性は低いが、「OHP」や「映像による教材提示装置」については緊急性が高いと考えられていることを示している。ただし、この教室にはOHPが設置されており、現在のものが使用上問題がある可能性がある。

[105番]

《基本的設備》

「収容能力」「音響」「黒板などの設備」「教室の位置」「外部からの物音」については普通以上の評価が多かったが、「照明」については評価が分かれ、また「暖房」については低い評価となっている。

《AV機器類》

いずれの機器についてもきわめて不十分であるとの評価を受けている。

《AV機器類の導入》

「ビデオ」「OHP」「映像による教材提示装置」については導入の緊急性が高いが、「カセットデッキ」についてはそれほどの必要性が感じられていないことが分かる。この評価は、この教室が専ら講義科目用として使用されていることと関係していよう。

[160番]

《基本的設備》

「収容能力」「照明」「黒板等の設備」「外部からの物音」については全て普通かそれ以上の評価であった。しかし「音響」「暖房」「設置位置」については評価が分かれている。

《AV機器類》

「ビデオ」については評価が分かれているが、「カセットデッキ」や「OHP」については普通以上という評価であり、「映像による教材提示装置」についてはやや悪いないし悪いという評価が多かった。

《AV機器類の導入》

「ビデオ」や「カセットデッキ」についてはどちらでもよいという評価であり、「OHP」や

「映像による教材提示装置」については評価が分かれた。機器類がよく整備された教室だが、「OHP」については使用上何らかの問題があるのかもしれない。

[210番]

《基本的設備》

「収容能力」「黒板等の設備」「外部からの物音」については普通ないしそれ以上の評価が多かった。「音響」「照明」については「普通」が多かったが、「悪い」も各2件あり、あまり条件が良くないことを示している。「暖房」「設置位置」については「普通」と「やや悪い」「悪い」が同数であり、やはりあまり条件が良くないことを示していると言えるであろう。

《AV機器類》

「ビデオ」については「普通」以上が多かった。「カセットデッキ」については評価が分かれた。「OHP」「映像による教材提示装置」については「やや悪い」「悪い」の方が多く、これらについてはかなり不十分な状態にあることを示している。

《AV機器類の導入》

いずれについても評価1（早急な設置を要する）と評価2（早晩の設置を要する）が多い。このことはどれについても設置の緊急性が高いことを示していると言えよう。現在設置されている機器類に使用上問題があり、また必要な機器が設置されていない、ということだろう。

[213番]

《基本的設備》

「外部からの物音」は「普通」以上の評価を得ているが、「黒板等の設備」「暖房」「設置位置」は概ね「普通」である。ただ「音響」については「普通」と「悪い」（1件）だけであり、やや低い評価となっている。

《AV機器類》

概ね「普通」以上の評価だが、「OHP」と「映像による教材提示装置」について各1件「やや悪い」との評価がある。

《AV機器類の導入》

ほとんどの装置が設置されているにもかかわらず7件の回答が寄せられたのはやや不可解だが、現在の機器への不満が背後にあるのかもしれない。「OHP」の緊急の設置を求める回答が1件あった。

2 まとめと若干の提言

以上の詳細な個別的集約に基づいて、以下主要なテーマに的を絞って問題点の整理と若干の具

体策の提起を行ってみたい。

教育施設・設備は教育実現の十分条件ではないが必要条件ではある。施設・設備の不備が教育のよりよい実現を困難にすることも少なくないであろう。特にハイテクを駆使する諸科目や技術面の育成が重要な外国語科目にとって、設備が教育そのものを決定的に制約する場合がある。他方本学（に限らないであろうが）では、教育施設に限らず諸施設設置のプランニングのプロセスはきわめて不透明な感がある。学内の意向が十分吸収されないまま、突然施設・設備が設置されてしまう、という印象を持っている人は少なくないのではあるまいか。そして一旦出来上がってしまうと、使う側に立った手直しが速やかに行われることは少ないように思われる。教育施設・設備に限って言えば、設置の立案に当たる者は教育現場を知らず、教育現場にある者は立案の蚊帳の外にあり、最終的な受益者である学生にはそもそも希望を伝えるチャンネルそのものが無い、という悪循環が支配してきたように見受けられる。今回の調査がこれら分断された大学構成主体を結合するパイプ形成の契機となれば幸いである。

しかし集約する段階で明らかになった本調査の一つの限界についてあらかじめ述べておかなければならない。すなわち個々の教室の抱える問題は実に千差万別で、本調査の大まかな質問事項では、特に基本的設備の問題点を正確に掬い上げるとはとても無理であり、また寄せられた回答自体も重要な問題を見落としている場合が少なくない、ということである。従って、このまとめと提言においても、この点についての責任ある発言は不可能であり、専らAV機器類の問題に焦点を絞らざるを得なかった。

もとより教室の抱える問題を根本的に洗い出すためには、教える側の意見と同時に学ぶ側の意見を聞くことが不可欠である。しかしそれに劣らず大切なことは、定期的に学外の専門家のアセスメントとアドバイスを受けることであろう。そしてこうした平生からの多面的な基礎的調査に基づいて然べきプロジェクトチームが計画立案に当たるとき、はじめて学び易い教育環境が形成されていくであろう。

2-1 共通の問題について

2-1-1 複数教室での同時講義

図5で見たようにこの問題についての学内コンセンサスは出来ていないが、賛成の28%という数字も決して小さなものではない。大人数授業の問題の解決の方法がどうしても見いだせない場合には、一部の教室にこの設備を設置して希望者が利用する、という柔軟な方法を考えてみてもよいのではないか。

2-1-2 大講義室の設置

図6からも分かるように、大講義室設置への希望は大きい。にもかかわらずこの希望は設置規準を盾に常に文部省によって退けられてきたようだ。しかし大人数授業用に留まらず多目的に使用可能であるから、今後とも全学的な最重要課題の一つとして取り組んで行く必要があるだろう。

2-1-3 ホワイトボードの問題

図7・8・9からも分かるように、ホワイトボードの設置についてはほぼ全学的なコンセンサスがあると見てよいだろう。OHPのスクリーンにもなるという大きな利点もあって、新設校を中心にこれを設置している大学は少なくない。メンテナンスも楽で濡れた布で拭けば常に新品同様である。マーカーはキャップを忘れなければ乾くこともない。個人が携行・管理し、また油性ペンを使用しないことである。しかし躊躇や反対をする向きもあるわけだから階段を踏んで進めるべきだろう。まず希望するゼミ室と半数程度の語学用教室に設置してはどうだろう。同時に一定数の講義用教室にも設置して評価が定まるのを待ってもよい。値段について触れれば、ゼミ室用は規格品であれば9万円程度、非規格品で工事が絡めば10~15万円、語学教室用は15~20万円弱。5年計画でゼミ室と語学用教室に設置することはそれほど困難ではないだろう。

2-1-4 ゼミ室の共用

図16が示すように、共用を拒まない先生も39.1%おり、ゼミ室数で言えば約27教室に相当する。何も全ゼミ室を一律に共用する必要は全く無く、これだけの数の小教室が確保されれば、近い将来に実現が予想される「初習者ゼミ」や外国語の少人数授業には十分であろう。もちろん円滑な共用を図るための然るべきルールが必要となつてこようが。また、共用の教室は多様な使用目的に対応して優先的にAV機器を設置する必要があるかもしれない。

2-2 教室タイプ毎の問題

2-2-1 大規模講義室 (104番、105番、160番、210番、213番等)

利用者が多いとみえて回答数も他の教室に比べて多かった。これらの教室について共通して言えることは、現在設置されているAV機器についての評価が低く、その改善や新規の設置を望む声が多いことである。本学の教育に占めているこれらの教室の大きな比重を考えれば、これは重大な問題であり、早急な対策が講じられるべきだろう。まず現存の機器類について使用上問題が無いかどうか総点検し、必要な改善策を取るべきであろう。例えば160番については、スクリーンの設置位置を側壁部分にするか、従来どおり正面に設置するにしてもサイズを半分にすれば黒板も併用できる、という声も聞く。また機器類が少ない105番、104番については、早急にビデオおよび映像教材提示装置を設置すべきであろう。

2-2-2 中規模講義教室

その規模に比して黒板が小さすぎる教室がある(305番、413番)。後方の学生は黒板の字を読みとることが困難なのではないか。壁一面に黒板なりホワイトボードなりを設置すべきではなからうか。またこれらの教室にもOHPの設置を急ぐ必要があり、将来的にはビデオや映像教材提示装置を設置する必要があるだろう。

2-2-3 ゼミ室

ゼミ室にOHPとビデオの設置を望む声が多い(図14・15)。すでに設置されているところも

あるし設置を望まないケースもありうるので、数年もかければほぼ需要を満たすことが出来るのではないか。ちなみに両装置を設置するのに約55万円かかるようだ。

2-2-4 語学用教室

ここでは他の教室の場合に比して、AV機器の設置を望む声が一般的にきわめて強い。実用性をますます強く求められているこの科目の特徴からすれば当然であろう。設置希望の順序は、第1位がカセットデッキ、第2位がビデオ、第3位が教材提示映像装置、第4位がOHPとなっており、数値から言っても前2者設置の緊急性はきわめて高いことが窺える(図27・28)。まずこのカセットデッキ(スピーカー・アンプ・チューナーを含む)とビデオ装置を早急に設置するとすれば、1教室当たり約80万円弱(工事費込み)かかる。全24教室に設置するには約1900万円かかるが、これはLL教室一つ分にも満たない値段である。現代の語学教育は、ネイティブもノンネイティブも教授法は大差無くなってきており、全教室が基本的条件を備えていることが重要である。高価な割に用途の限られたLL教室を1つ作るよりも、全体のレベルアップの点ではこちらの方がはるかに投資効果がある。1年に5教室ずつ設置する(400万円)として5年で全教室に完備される計算である。将来、語学専用教室が建設された場合にもこれらをそのまま使えば無駄にはならない。それにつけても、文部省を筆頭として全国的に盲信されている誤ったLL教室至上主義がまず改められる必要がある。

可動式小卓付き椅子の単価は3万円。従って1教室当たり50名として150万。全24教室に設置するには3600万円。教師の好みもあり、全教室に設置する必要はなかろう。当面はまず数教室に実験的に設置してみるべきだろう。

図34が示すように、大多数の語学教師が語学専用教室の設置を望んでいる。しかし、現代の語学教育は20人規模を目処として行われるべきであるから、専用教室の設置もこうした少人数教育のプランニングと並行して進められるべきであろう。

【付録1】その他の教室についてのまとめ

[103番]

《基本的設備》

「音響」「照明」「教室の配置位置」については「普通」であるが、「黒板等の設備」「暖房」「外部からの物音」については条件が悪いということを示している。

《AV機器類》

いずれの機器についても評価は5に集中している。この教室は主として語学用に使用されており、そのための態勢がきわめて不備ということだろう。

[151番]

《基本的設備》

概ね普通以上の評価であったが、「外部からの物音」だけがやや悪いという評価を受けている。

《AV機器類》

ビデオについて普通という評価が1件あっただけで、あとはすべて悪いという評価であった。従って、AV機器類についてはいずれも不十分な状態にあることを示していると言えよう。

《AV機器類の導入》

「ビデオ」や「カセットデッキ」導入の緊急性は高いが、「OHP」や「映像による教材提示装置」についてはそれほどの緊急性が感じられていないことを示している。

[211番]

《基本的設備》

概ね「普通」以上が多いが、「黒板等の設備」「暖房」「教室の配置位置」についてはやや評価が低く、「外部からの物音」については「普通」と「やや悪い」「悪い」が同数であり、評価は低かった。

《AV機器類》

「ビデオ」「カセットデッキ」「映像による教材提示装置」については「悪い」、「OHP」については「普通」という評価になっている。前者は設置されておらず後者は時々使用される、という事情が背景にあるものと思われる。

《AV機器類の導入》

「ビデオ」「カセットデッキ」の導入については評価が分かれているが、「OHP」についてはやや緊急性があり、「映像による教材提示装置」については緊急性が高いという評価になっている。

[251番]

《基本的設備》

「照明」と「外部からの物音」についてやや評価が低い以外は、概ね「普通」である。「外部からの物音」の評価が低いのは、人通りが多いからだろう。

《AV機器類》

「ビデオ」について「悪い」という評価を得ている。語学用の教室なのに設置されていないからであろう。他は全て「普通」である。

《AV機器類の導入》

「ビデオ」の緊急の設置を求める意見が寄せられており、上記現状認識と呼応している。

[253番]

《基本的設備》

概ね「普通」以上の評価を得ている。

《AV機器類》

すべての機器について「悪い」の評価が与えられている。語学用の教室なのに全く設置されていないからであろう。

《AV機器類の導入》

上記現状認識に対応して機器類の緊急の設置を望む声が多く寄せられている。

[301番]

《基本的設備》

「音響」「照明」「黒板等の設備」「暖房」「配置位置」ともやや否定的な評価を得ており、特に「外部からの物音」については評価が「悪い」に集中している。

《AV機器類》

[253番]と全く同様に、全ての機器について評価が「悪い」に集中している。語学用の教室だからであろう。

《AV機器類の導入》

上記現状認識に対応して、機器類の早急な、ないしは早晩の設置を望む声が多い。

[303番]

《基本的設備》

全体に評価が分かれているが、「外部からの物音」については「悪い」が多く評価は低い。

《AV機器類》

全ての機器についての「悪い」の評価が与えられている。中規模教室ながら語学用教室として

も使用されることが多いからであろう。

《AV機器類の導入》

上記現状認識に対応して設置を望む声が多いが、講義用教室としても使用されるので評価はやや分かれている。

[305番]

《基本的設備》

概ね「普通」以上の評価を得ているが、「照明」については評価が分かれている。「外部からの物音」だけはやや低い評価を得ている。

《AV機器類》

回答無し。

《AV機器類の導入》

回答無し。

[307番]

《基本的設備》

概ね「普通」以上の評価を得ているが、「設置位置」についてはやや低い評価を得ている。

《AV機器類》

「ビデオ」と「カセットデッキ」について低い評価を得ている。ビデオは設置されている機械が古いからであろう。

《AV機器類の導入》

回答無し。

[308番]

《基本的設備》

「音響」「暖房」「外部からの物音」については「普通」以上だが、「照明」「黒板等の設備」「配置位置」については低い評価を得ている。

《AV機器類》

「ビデオ」が「やや良い」以外は「普通」との評価を得ている。ここにはビデオ以外は設置されていない。

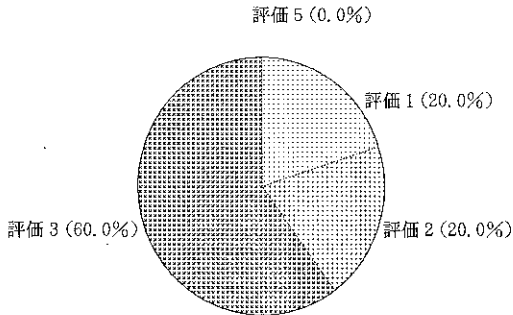
《AV機器の導入》

「ビデオ」は設置されているので無回答。それ以外の機器について設置の希望は無い。

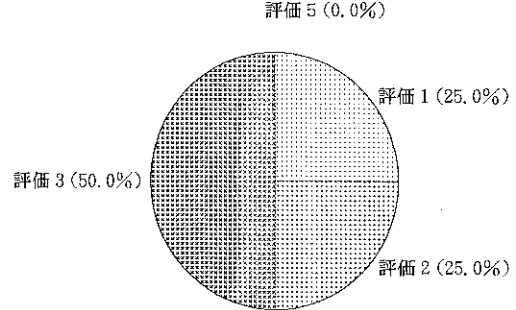
[104] 番教室

問1

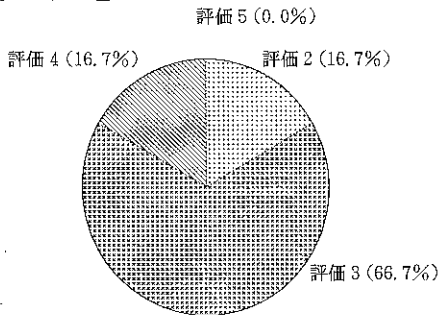
104番教室問1 a) 収容能力



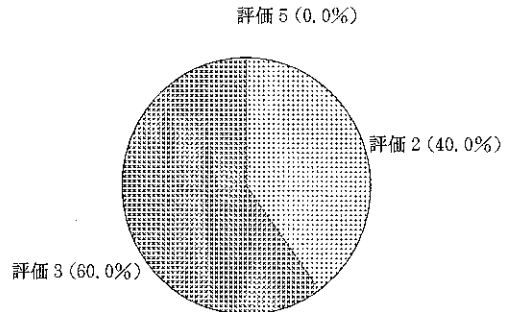
104番教室問1 d) 黒板, 机, 椅子等の設備



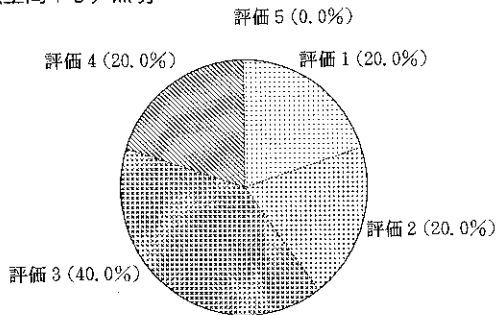
104番教室問1 b) 音響



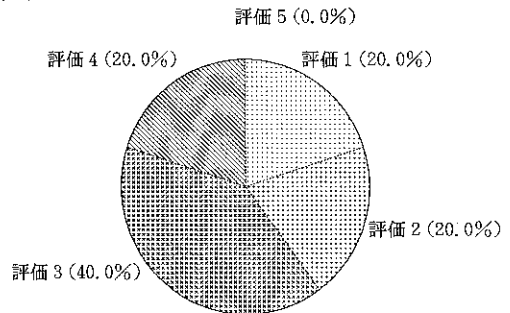
104番教室問1 e) 暖房



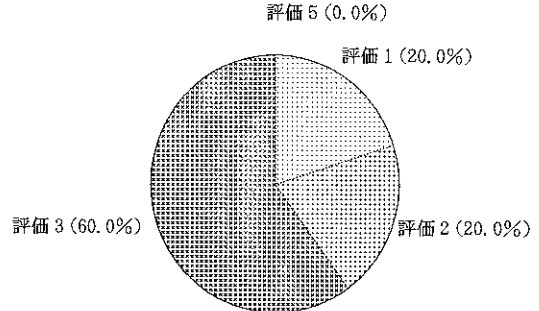
104番教室問1 c) 照明



104番教室問1 f) 教室の設置

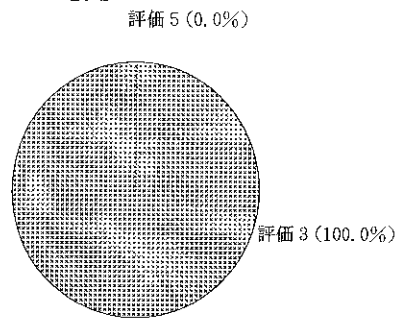


104番教室問1 h) 外部からの物音

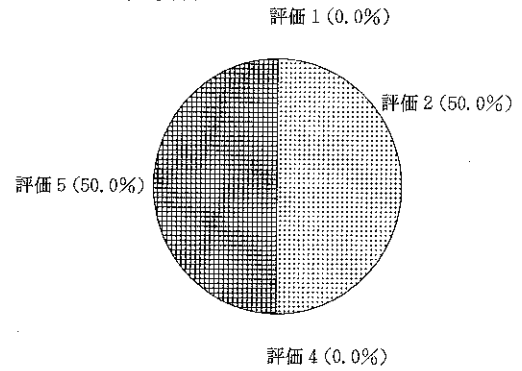


問2

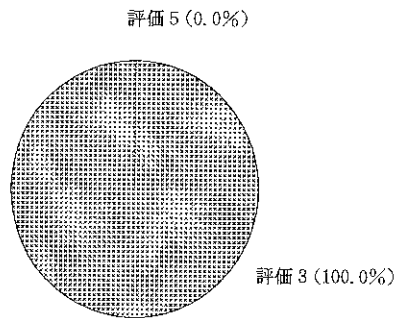
104番教室問2 a) ビデオ装置



104番教室問2 c) OHP

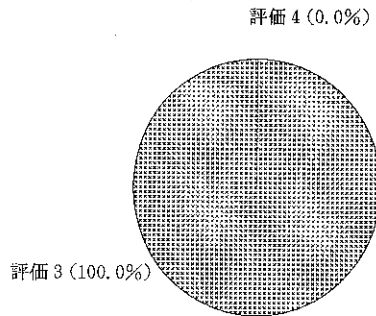


104番教室問2 b) カセットデッキ

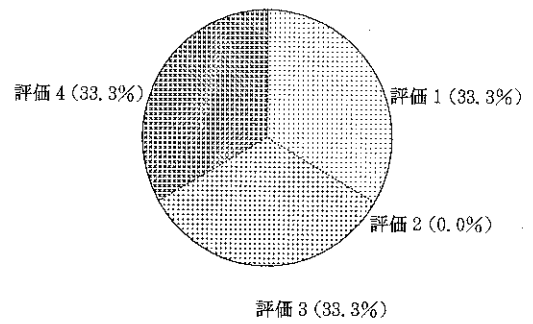


問3

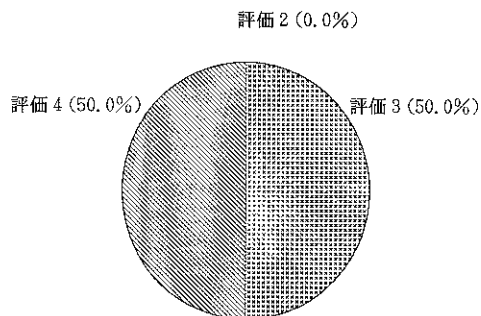
104番教室問3 a) ビデオ装置



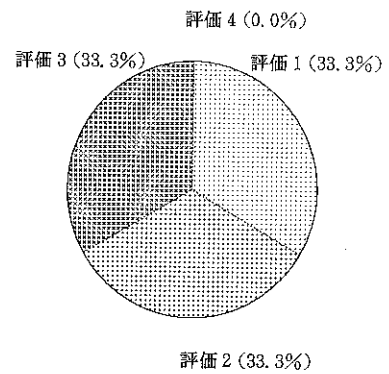
104番教室問3 c) OHP



104番教室問3 b) カセットデッキ



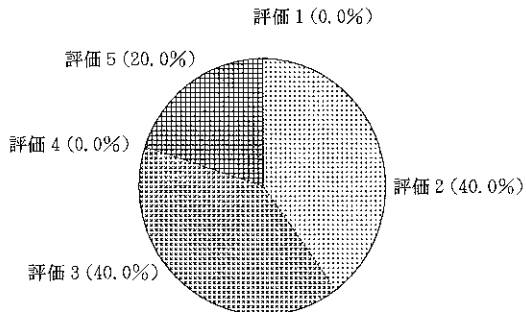
104番教室問3 d) 映像による教材提示装置



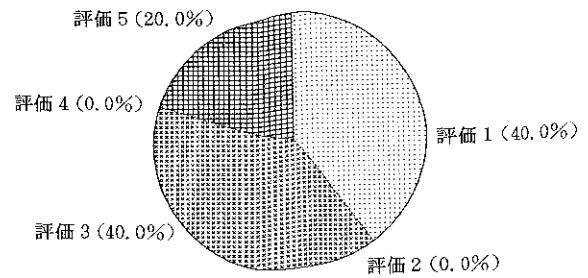
[105] 番教室

問1

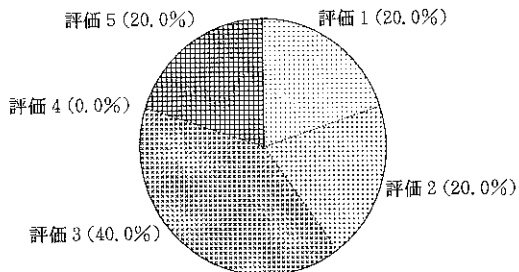
105番教室問1 a) 教室収容能力



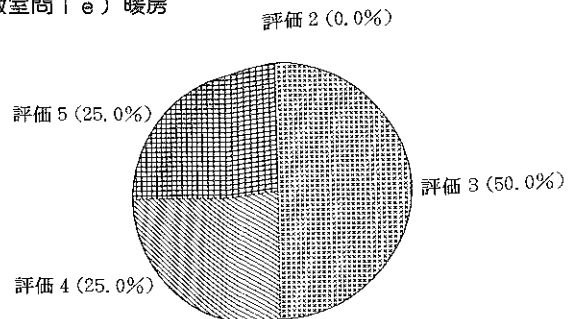
105番教室問1 d) 黒板, 机, 椅子等の設備



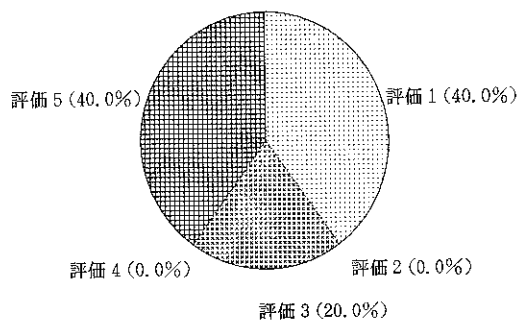
105番教室問1 b) 音響



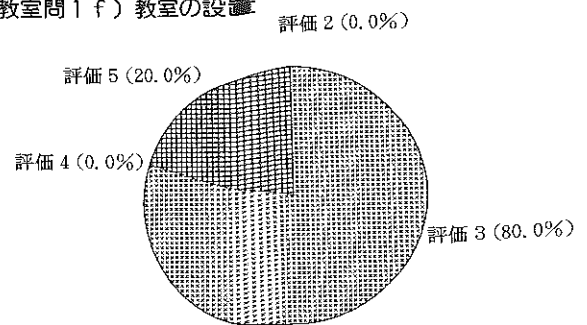
105番教室問1 e) 暖房



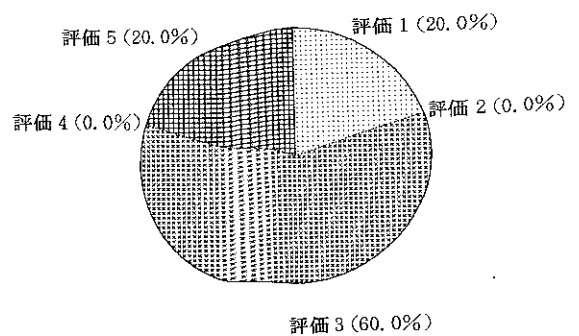
105番教室問1 c) 照明



105番教室問1 f) 教室の設置



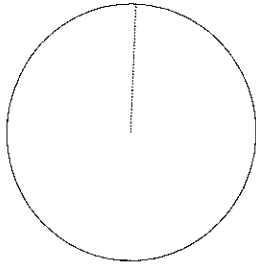
105番教室問1 h) 外部からの物音



問 2

105番教室問2 a) ビデオ装置

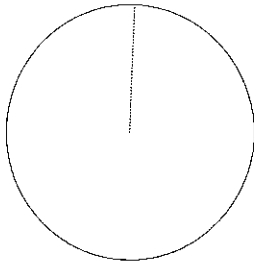
評価 4 (0.0%)



評価 5 (100.0%)

105番教室問2 b) カセットデッキ

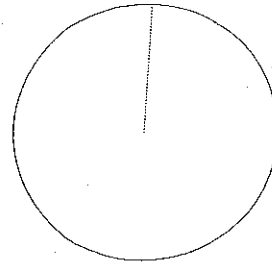
評価 4 (0.0%)



評価 5 (100.0%)

105番教室問2 c) OHP

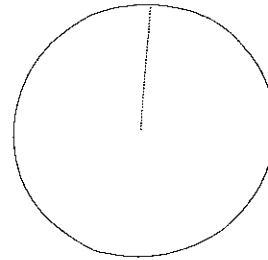
評価 4 (0.0%)



評価 5 (100.0%)

105番2 d) 映像による教材提示装置

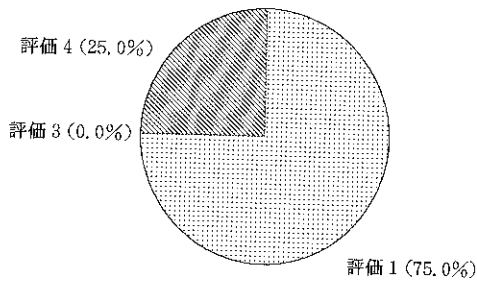
評価 4 (0.0%)



評価 5 (100.0%)

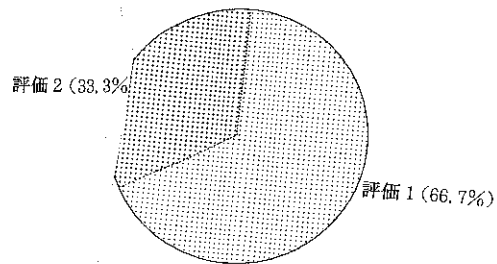
問 3

105番教室問3 a) ビデオ装置



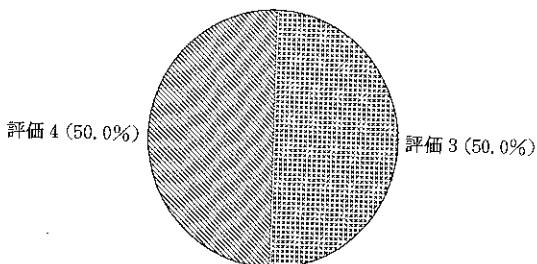
105番教室問3 c) OHP

評価 4 (0.0%)



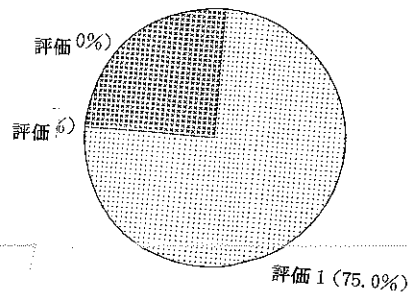
105番教室問3 b) カセットデッキ

評価 2 (0.0%)



105番教室問3 映像による教材提示装置

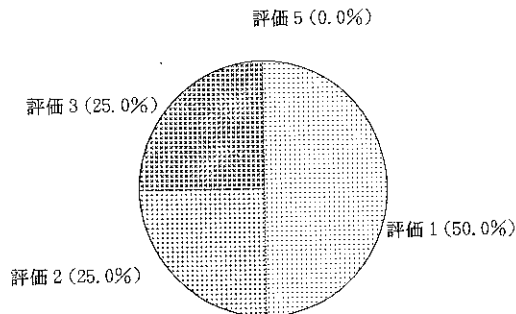
評価 4 (0.0%)



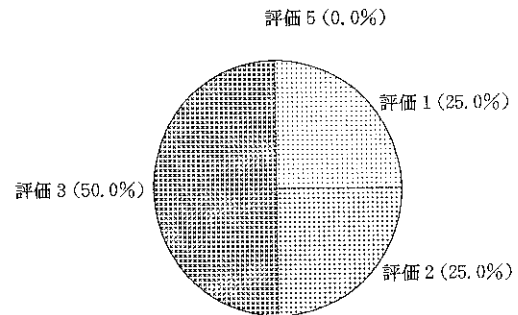
[160] 番教室

問1

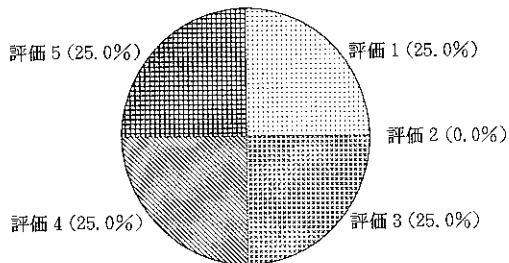
160番教室問1 a) 収容能力



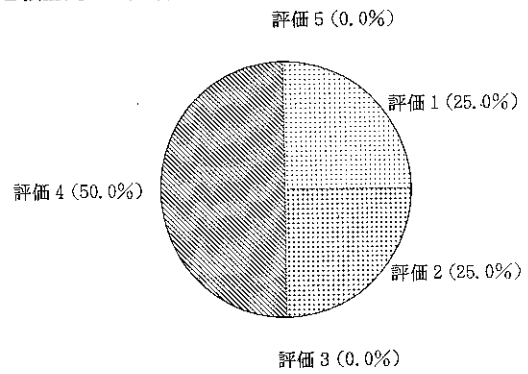
160番教室問1 d) 黒板, 机, 椅子等の設備



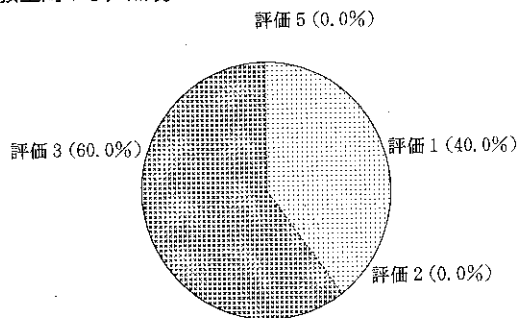
160番教室問1 b) 音響



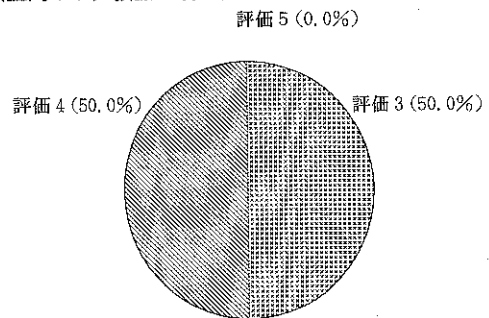
160番教室問1 e) 暖房



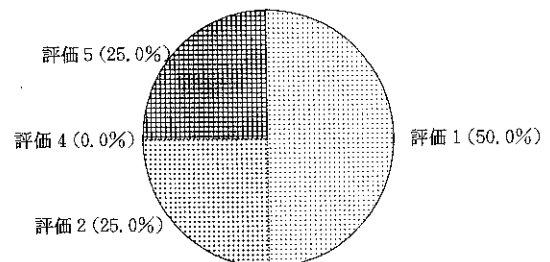
160番教室問1 c) 照明



160番教室問1 f) 教室の設置位置

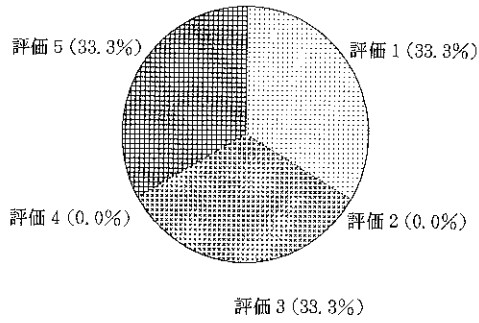


160番教室問1 h) 外部からの物音

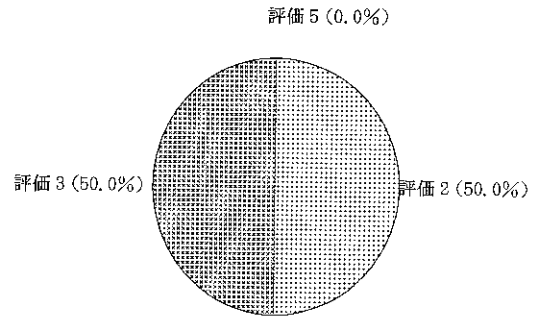


問 2

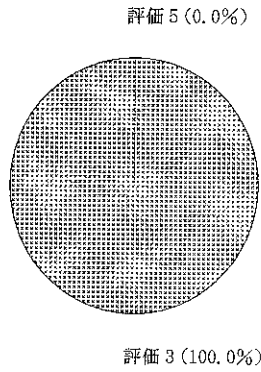
160番教室問2 a) ビデオ装置



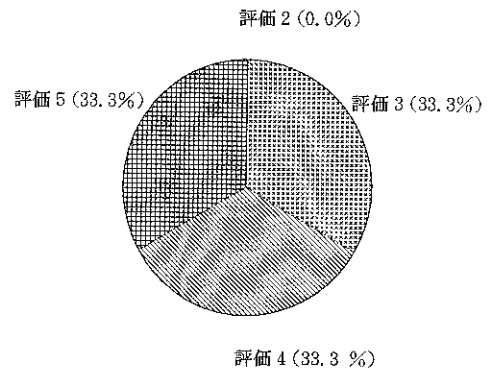
160番教室問2 c) OHP



160番教室問2 b) カセットデッキ

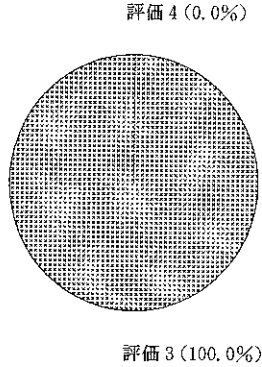


160番教室問2 d) 映像による教材提示装置

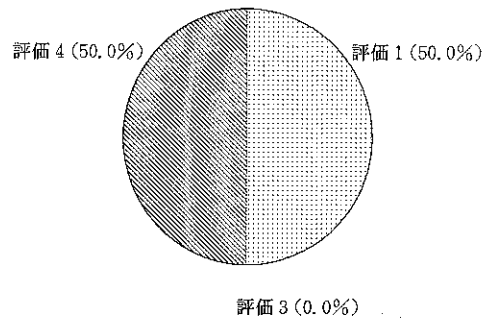


問 3

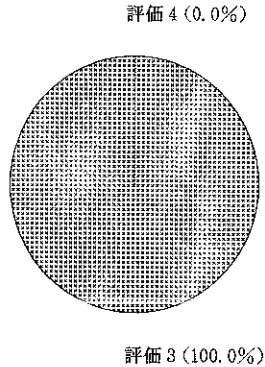
160番教室問3 a) ビデオ装置



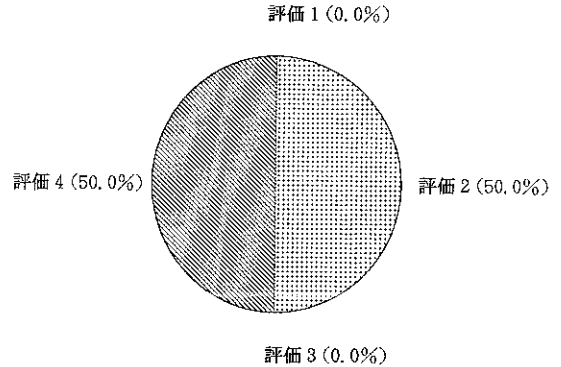
160番教室問3 c) OHP



160番教室問3 b) カセットデッキ



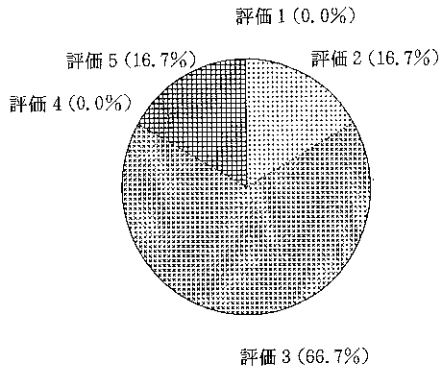
160番教室問3 d) 映像による教材提示装置



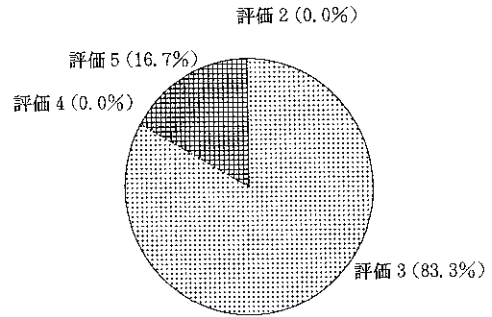
〔210〕番教室

問1

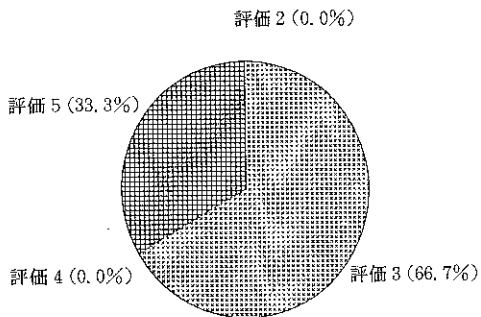
210番教室問1 a) 収容能力



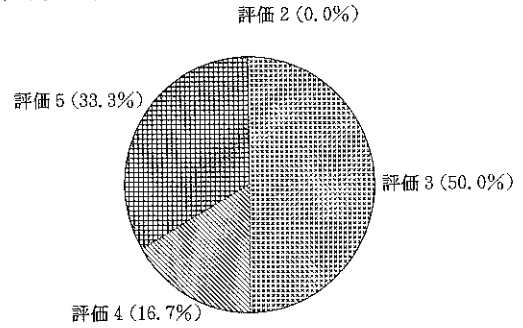
210番教室問1 d) 黒板, 机, 椅子等の設備



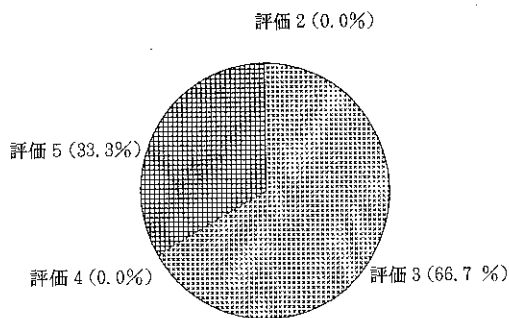
210番教室問1 b) 音響



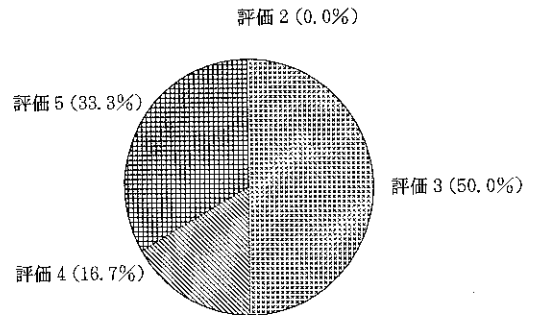
210番教室問1 e) 暖房



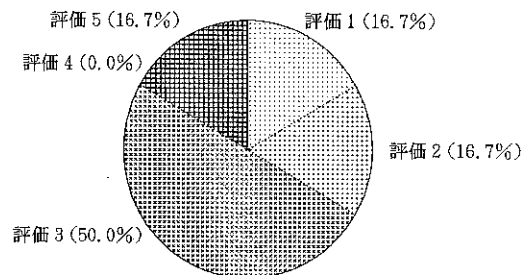
210番教室問1 c) 照明



210番教室問1 f) 教室の設置位置

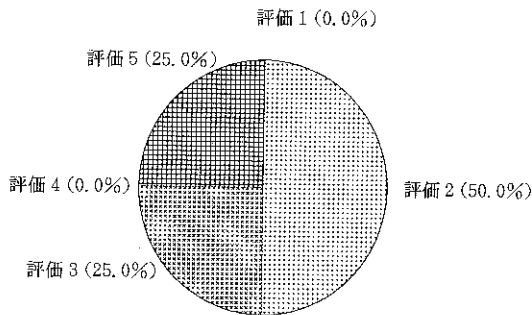


210番教室問1 h) 外部からの物音

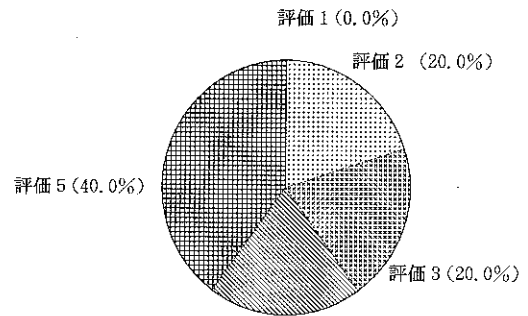


問 2

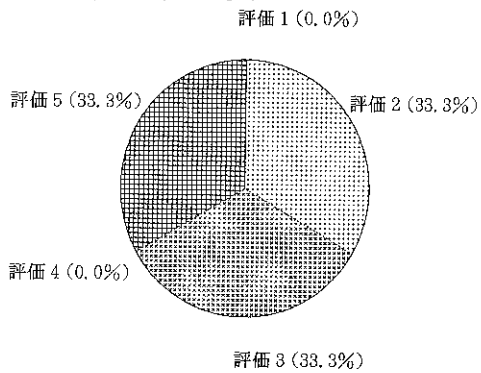
210番教室問2 a) ビデオ装置



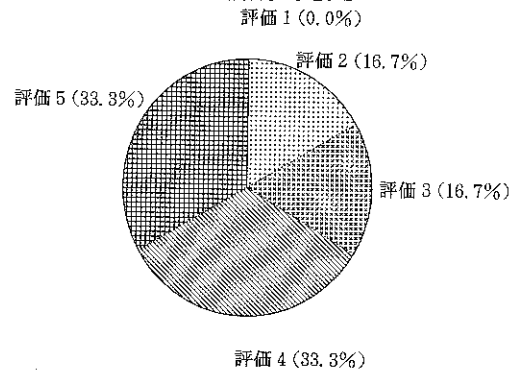
210番教室問2 c) OHP



210番教室問2 b) カセットデッキ

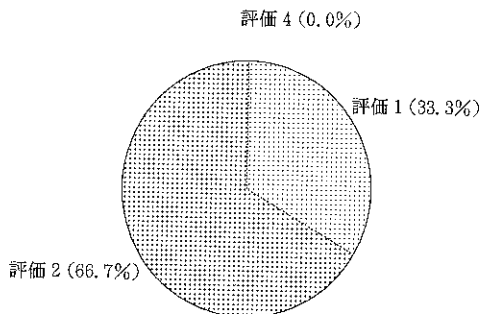


210番教室問2 d) 映像による教材提示装置

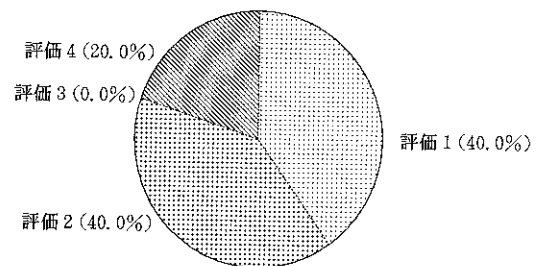


問 3

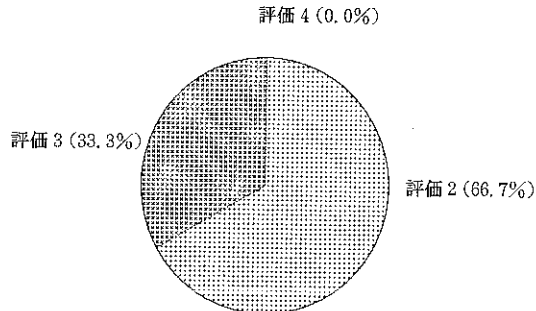
210番教室問3 a) ビデオ装置



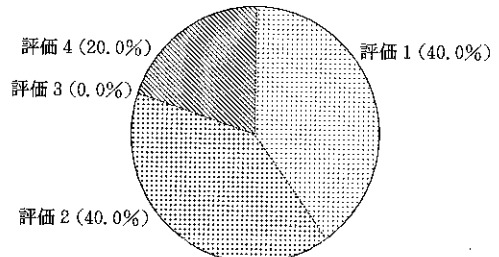
210番教室問3 c) OHP



210番教室問3 b) カセットデッキ



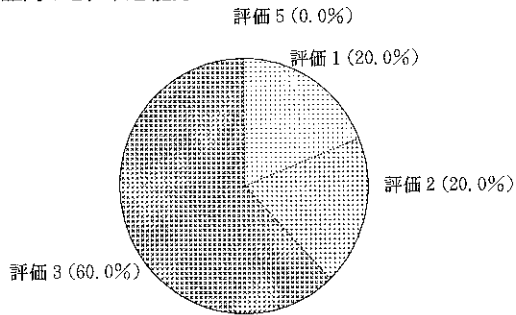
210番教室問3 d) 映像による教材提示装置



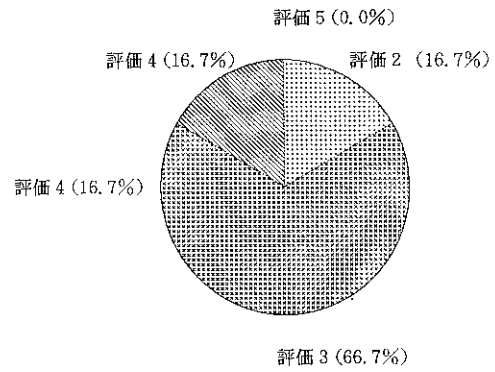
〔213〕番教室

問1

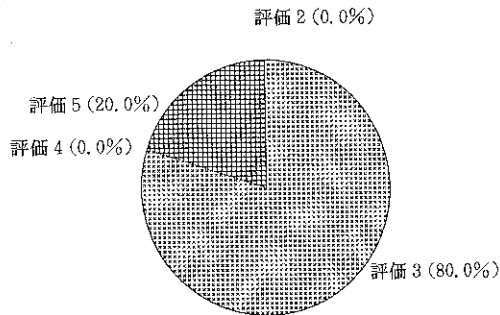
213番教室問1 a) 収容能力



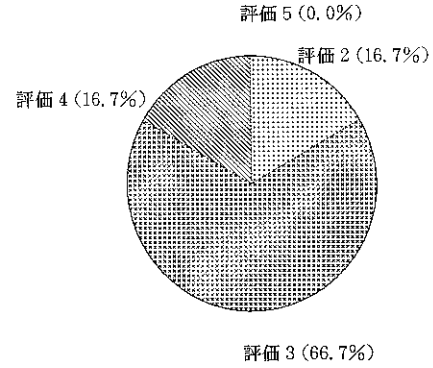
213番教室問1 d) 黒板, 机, 椅子等の設備



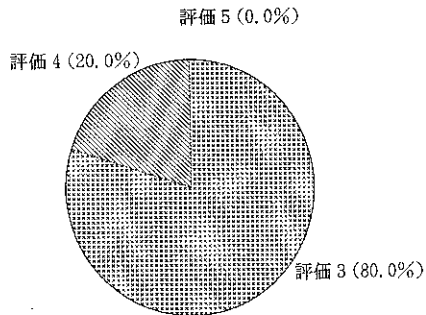
213番教室問1 b) 音響



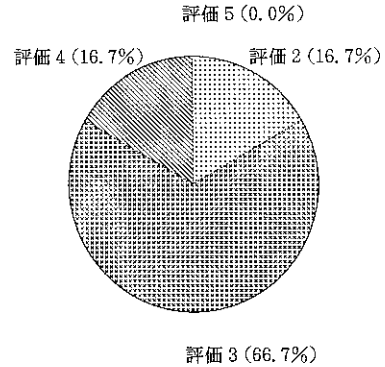
213番教室問1 e) 暖房



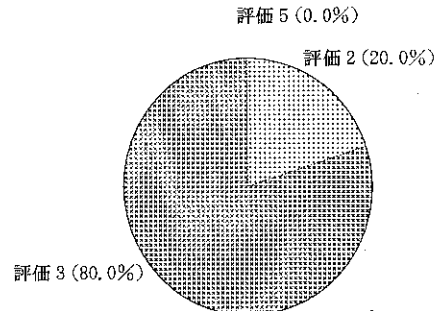
213番教室問1 c) 照明



213番教室問1 f) 教室の設置位置

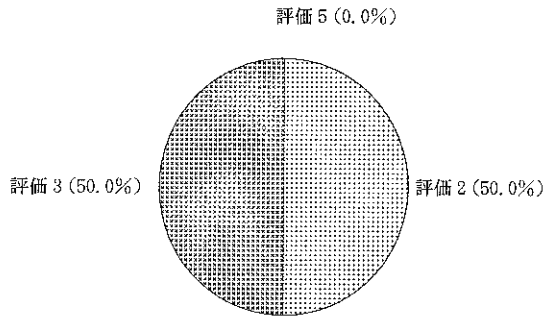


213番教室問1 h) 外部からの物音

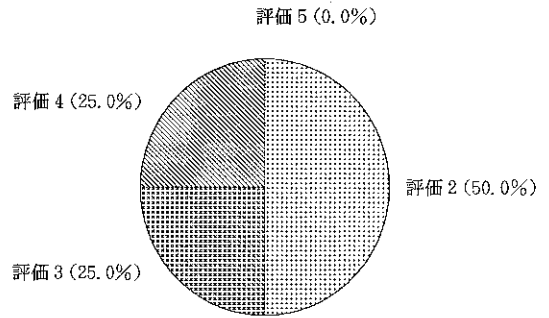


問2

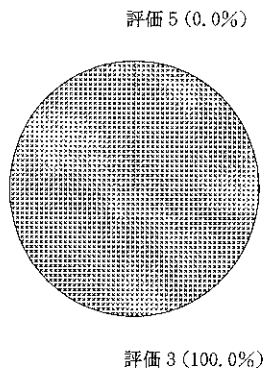
213番教室問2 a) ビデオ装置



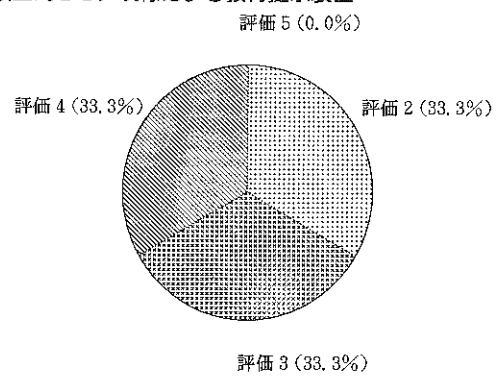
213番教室問2 c) OHP



213番教室問2 b) カセットデッキ

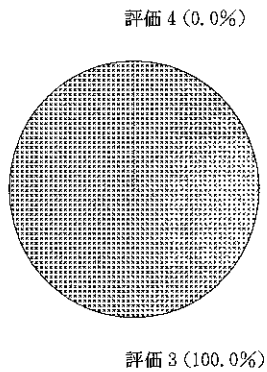


213番教室問2 d) 映像による教材提示装置

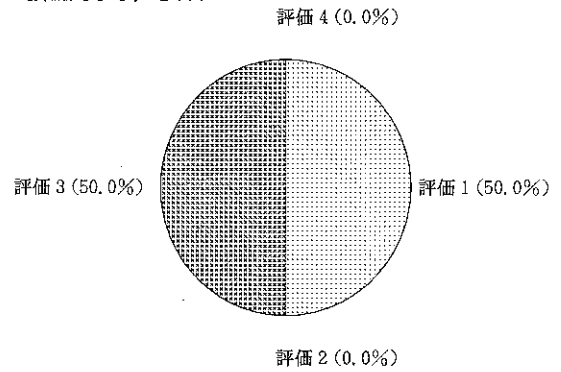


問3

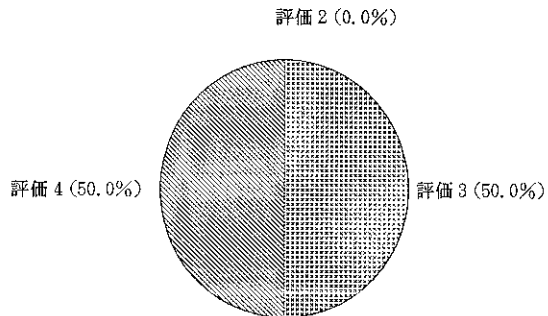
213番教室問3 a) ビデオ装置



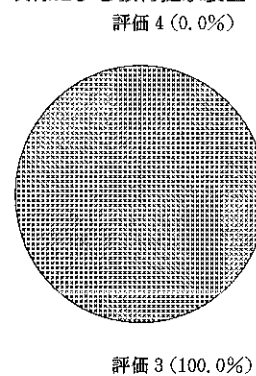
213番教室問3 c) OHP



213番教室問3 b) カセットデッキ



213番教室問3 d) 映像による教材提示装置



【付録2】アンケート調査票

教務委員会

教室環境改善のためのアンケート調査

[A] 所属する学科等はどこですか。

- a) 一般教育 b) 商学科 c) 経済学科 d) 企業法学科 e) 社会情報学科
- f) 言語センター g) 非常勤講師 [担当科目: 1. 外国語 2. その他の科目]

[B] 大・中・小教室で講義をしている先生におたずねします。

【1】 次の共通する問題にお答え下さい。

問1 履修者数（実際の受講者数ではない）が現に使用している教室の収容能力をオーバーしていますか。
a) はい b) いいえ

問2 問1でa)と答えられた方に対しておたずねします。
① 科目の種類は何ですか。
a) 一般教育科目 b) 基礎教育科目 c) 専門科目

② 現在の状態をどのように認識していますか。
a) 深刻 b) 問題はあるがやり繰り可能 c) 問題なし

問3 周知のとおり、基礎教育科目を中心に少なからぬ科目で教室の収容能力を上回る履修者数を抱えながら、教員・学生双方からの正当な苦情にもかかわらず今日に至るまで有効な改善策が講じられておりません。設置基準で当面十分な大きさの設置が困難であるとすれば、ビデオ等の映像を利用して教員の講義を他の教室で映し出すことによって、複数の教室で同時に講義を行う方法が考えられます。これによって教室に入りきれない学生が他の教室で同様の講義を受けることができます。この改善案についてどう思いますか。この提案に対する補足的なアイデアがあれば書いて下さい。
また今回の提案に対する明確な反対理由や全く別個の改善のための提案があれば書いて下さい。

a) 賛成 b) 反対 c) どちらとも言えない
補足的なアイデア []
反対理由 []
別の提案 []

問4 大人数の講義にも使用できる多目的の大講堂の設置が望まれますが、どう思いますか。
a) 賛成 b) 反対 c) どちらとも言えない

問5 黒板をホワイト・ボード（黒板と同じ大きさ。板書内容コピー機付きタイプもある。）に変える学校・大学が増えて来ています。清潔かつ視覚的に優れている（多色使用可）ためかと思われれます。このようなホワイト・ボードの設置についてどう思いますか。
a) 賛成 b) 反対 c) どちらとも言えない
b) の理由 []
c) の理由 []

【II】 現在使用している個々の教室の、主として設備面についておたずねします。

●問1、問2では設備について次の5段階で評価して下さい。
【よい=1 / やよい=2 / やまよ=3 / やや悪い=4 / 悪い（あるべきなのに無い）場合も=5】
●問3では現在設置されていないAV機器類について、設置の必要性・緊急性の高さについて次の1～4の番号で示して下さい。
【早急な設置を要する=1 / 早晩の設置を要する=2 / どちらでもよい=3 / 設置の必要無し=4】
ただし、3つ以上の教室を使用している場合は、そのうち使用上より問題ある2つの教室についてお答え下さい。

[1] [] 番教室について
問1 次の設備について評価して下さい。
a) 教室の収容能力 [] b) 音響 [] c) 照明 []
d) 黒板・机・椅子等の設備 [] e) 暖房 []
f) 教室の設置位置（日当たり等） [] g) 外部からの物音 []
*コメントやその他の問題点があれば下に書いて下さい。

問2 AV機器類について評価して下さい。
a) ビデオ装置 [] b) カセットデッキ [] c) OHP []
d) 映像による教材提示装置 []
*コメントやその他の問題点があれば下に書いて下さい。

問3 問2で挙げたAV機器類の、設置の必要性・緊急性の高さについておたずねします。1～4の番号でお答え下さい。
a) ビデオ装置 [] b) カセットデッキ [] c) OHP []
d) 映像による教材提示装置 []
*コメントがあれば下に書いて下さい。

[2] [] 番教室について
問1 次の設備について評価して下さい。
a) 教室の収容能力 [] b) 音響 [] c) 照明 []
d) 黒板・机・椅子等の設備 [] e) 暖房 []
f) 教室の設置位置（日当たり等） [] g) 外部からの物音 []
*コメントやその他の問題点があれば下に書いて下さい。

問2 AV機器類について評価して下さい。
a) ビデオ装置 [] b) カセットデッキ [] c) OHP []
d) 映像による教材提示装置 []
*コメントやその他の問題点があれば下に書いて下さい。

問3 問2で挙げたAV機器類の、設置の必要性・緊急性の高さについておたずねします。1～4の番号でお答え下さい。
a) ビデオ装置 [] b) カセットデッキ [] c) OHP []
d) 映像による教材提示装置 []
*コメントがあれば下に書いて下さい。

【Ⅲ】 [I] の [II] と全体を通じて何かコメントがあれば書いて下さい。

[C] ゼミを担当している先生におたずねします。

【I】 現在使用している個々のゼミ教室の、主として設備面についておたずねします。

●問1、問2では設備について次の5段階で評価して下さい。
 【よい=1 / ややよい=2 / 普通=3 / やや悪い=4
 悪い(「あるべきなのに無い」場合も)=5】

●問3では現在設置されていないAV機器類について、設置の必要性・緊急性の高さについて次の1～4の番号で示して下さい。
 【早急な設置を要する=1 / 早晚の設置を要する=2
 どちらでもよい=3 / 設置の必要無し=4】

問1 次の設備について評価して下さい。
 a) 教室の収容能力 [] b) 音響 [] c) 照明 []
 d) 黒板・机・椅子等の設備 [] e) 暖房 []
 f) 教室の設置位置(日当たり等) [] g) 外部からの物音 []
 *コメントやその他の問題点があれば下に書いて下さい。

問2 AV機器類について評価して下さい。
 a) ビデオ装置 [] b) カセットデッキ [] c) OHP []
 d) 映像による教材提示装置 []
 *コメントやその他の問題点があれば下に書いて下さい。

問3 問2で挙げたAV機器類の、設置の必要性・緊急性の高さについてうかがいます。1～4の番号でお答え下さい。
 a) ビデオ装置 [] b) カセットデッキ [] c) OHP []
 d) 映像による教材提示装置 []
 *コメントがあれば下に書いて下さい。

問4 黒板をホワイト・ボード(黒板と同じ大きさ。板書内容コピー機付きタイプもある。)に変える学校・大学が増えて来ます。清潔かつ視覚的に優れている(多色使用可)ためかこのようなホワイト・ボードの設置についてどう思いますか。
 a) 賛成 b) 反対 c) どちらとも言えない

b) の理由 []
 c) の理由 []

問5 教室環境改善の問題とは直接関係ありませんが、この際次の質問にお答えいただければ幸いです。
 使用しているゼミ室を近い将来実現が予想される初習者ゼミ(基礎ゼミ)や小人数の語学の授業と共用してもよいと思いますか。

a) よい b) よくない c) どちらとも言えない
 b) の理由 []
 c) の理由 []

【Ⅱ】 [I] の全体を通じて何かコメントがあれば書いて下さい。

[D] 外国語を担当している先生におたずねします。

【I】 現在使用している教室の種類を挙げてください。
 ア) 通常の教室(机・椅子固定) イ) 通常の教室(机・椅子可動)
 ウ) AVホール エ) LJ教室

【II】 現在使用している個々の教室の設備面についておたずねします。
 [I] のア)～エ)のうち該当するケースについてお答え下さい。2種類以上の教室を使用する場合にはその分だけお答え下さい。

●問1、問2では設備について次の5段階で評価して下さい。
 【よい=1 / ややよい=2 / 普通=3 / やや悪い=4
 悪い(「あるべきなのに無い」場合も)=5】

●問3では現在設置されていないAV機器類について、設置の必要性・緊急性の高さについて次の1～4の番号で示して下さい。
 【早急な設置を要する=1 / 早晚の設置を要する=2
 どちらでもよい=3 / 設置の必要無し=4】

[I] (ア)の場合

問1 次の設備について評価して下さい。
 a) 教室の収容能力 [] b) 音響 [] c) 照明 []
 d) 黒板・机・椅子等の設備 [] e) 暖房 []
 f) 教室の設置位置(日当たり等) [] g) 外部からの物音 []
 *コメントやその他の問題点があれば下に書いて下さい。

問2 AV機器類について評価して下さい。
 a) ビデオ装置 [] b) カセットデッキ [] c) OHP []
 d) 映像による教材提示装置 []
 *コメントやその他の問題点があれば下に書いて下さい。

問3 問2で挙げたAV機器類の、設置の必要性・緊急性の高さについてうかがいます。1～4の番号でお答え下さい。
 a) ビデオ装置 [] b) カセットデッキ [] c) OHP []
 d) 映像による教材提示装置 []
 *コメントがあれば下に書いて下さい。

[2] (イ)の場合

問1 次の設備について評価して下さい。
 a) 教室の収容能力 [] b) 音響 [] c) 照明 []
 d) 黒板・机・椅子等の設備 [] e) 暖房 []
 f) 教室の設置位置(日当たり等) [] g) 外部からの物音 []
 *コメントやその他の問題点があれば下に書いて下さい。

問2 AV機器類について評価して下さい。
 a) ヴィデオ装置 [] b) カセットデッキ [] c) OHP []
 d) 映像による教材提示装置 []
 *コメントやその他の問題点があれば下に書いて下さい。

問3 問2で挙げたAV機器類の、設置の必要性・緊急性の高さについてうかがいます。1～4の番号でお答え下さい。
 a) ヴィデオ装置 [] b) カセットデッキ [] c) OHP []
 d) 映像による教材提示装置 []
 *コメントがあれば下に書いて下さい。

[3] (ウ)の場合

問1 次の設備について評価して下さい。
 a) 教室の収容能力 [] b) 音響 [] c) 照明 []
 d) 黒板・机・椅子等の設備 [] e) 暖房 []
 f) 教室の設置位置(日当たり等) [] g) 外部からの物音 []
 *コメントやその他の問題点があれば下に書いて下さい。

問2 AV機器類について評価して下さい。
 a) ヴィデオ装置 [] b) カセットデッキ [] c) OHP []
 d) 映像による教材提示装置 []
 *コメントやその他の問題点があれば下に書いて下さい。

問3 問2で挙げたAV機器類の、設置の必要性・緊急性の高さについてうかがいます。1～4の番号でお答え下さい。
 a) ヴィデオ装置 [] b) カセットデッキ [] c) OHP []
 d) 映像による教材提示装置 []
 *コメントがあれば下に書いて下さい。

[4] (エ)の場合

問1 次の設備について評価して下さい。
 a) 教室の収容能力 [] b) 音響 [] c) 照明 []
 d) 黒板・机・椅子等の設備 [] e) 暖房 []
 f) 教室の設置位置(日当たり等) [] g) 外部からの物音 []
 *コメントやその他の問題点があれば下に書いて下さい。

問2 AV機器類について評価して下さい。
 a) ヴィデオ装置 [] b) カセットデッキ [] c) OHP []
 d) 映像による教材提示装置 []
 *コメントやその他の問題点があれば下に書いて下さい。

問3 問2で挙げたAV機器類の、設置の必要性・緊急性の高さについてうかがいます。1～4の番号でお答え下さい。
 a) ヴィデオ装置 [] b) カセットデッキ [] c) OHP []
 d) 映像による教材提示装置 []
 *コメントがあれば下に書いて下さい。

【Ⅲ】 次の共通の問題についてお答え下さい。

問1 現代の外国語の授業では、ネイティブ・スピーカーであるか否かを問わず臨機応変なグルーピングが時として必要かと思われれます。そのためには通常の教室の場合現在使われている機動的ではない机・椅子に代えて可動式小車付き椅子(AVホールにあるタイプのもの)を導入する必要があるかと思われれます。この点についてどう思いますか。

- a) 賛成 b) 反対 c) どちらとも言えない]
 b) の理由 []]
 c) の理由 []]

問4 黒板をホワイト・ボード(黒板と同じ大きさ。教書内容コピー機付きタイプもある。)に変える学校・大学が増えて来ています。清潔かつ視覚的に優れている(多色使用可)ためかと思われれます。このようなホワイト・ボードの設置についてどう思いますか。

- a) 賛成 b) 反対 c) どちらとも言えない]
 b) の理由 []]
 c) の理由 []]

問3 外国語教育の特殊性に鑑みて、専用の語学教室の設置が必要かと思いませんか。

- a) 思う b) 反対 c) どちらとも言えない]
 b) の理由 []]
 c) の理由 []]

【Ⅳ】 [I] [II] [III] と全体を通じて何かコメントがあれば書いて下さい。

◆ご協力ありがとうございました。